

平成29年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT29333 わくわくインテリアコーディネート塾～コラージュ模型と空間スクリーン～



開催日：平成29年10月1日(日)

実施機関：九州産業大学

(実施場所) 8号館

実施代表者：諫見泰彦

(所属・職名) 建築都市工学部・准教授

受講生：高校生30名

関連URL：<http://isami.biz/>

【実施内容】

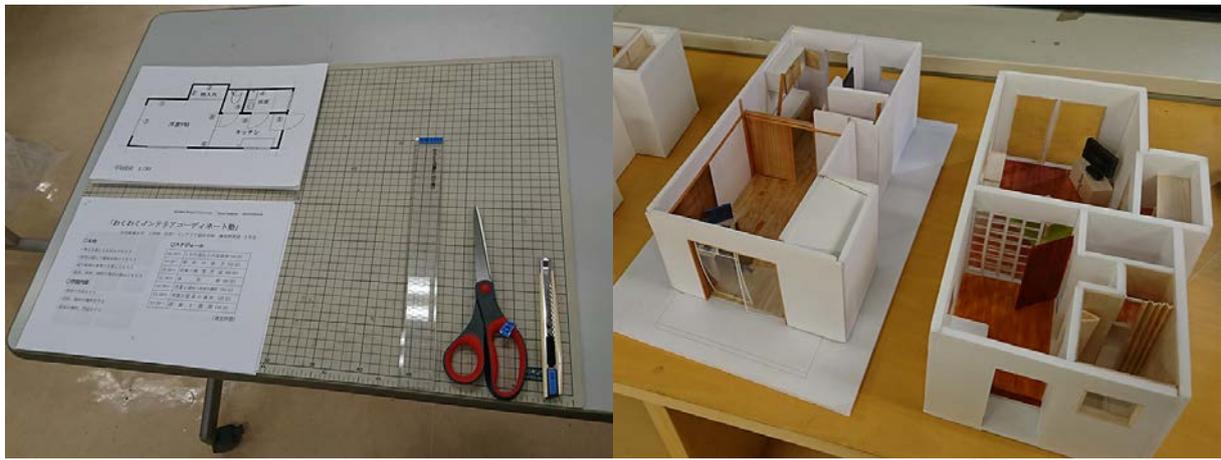
インテリアコーディネートは、インテリアに関する幅広い知識・専門的な技術などを駆使し、家具やカーテン、照明等の商品をトータルに設計し施工する仕事である。この分野を詳しく学べるように、九州産業大学は工学部住居・インテリア設計学科(現：建築都市工学部住居・インテリア学科)を開設した。中高生に身近な約5年後の目標となる同学科の学生が、この4年間で学んだ知識・技術・情報・経験を皆さんの進路選択に役立ててもらえるようにこのプログラムを実践した。



教材

スケジュール

- 10時00分 開講／講義①「インテリアコーディネートの基本的な知識」
- 10時30分 実習①「コラージュ模型の製作」
- 13時00分 昼食／休憩
- 13時30分 講義②「学生のデザインによるマンションリノベーション」
- 14時00分 実習②「空間スクリーンの体験」
- 14時45分 未来博士号授与、科研費の説明、アンケート執筆
- 15時00分 閉講／解散



教具

講義は実施代表者が担当したが、実習については実施協力者（工学部住居・インテリア設計学科学生）が、中学生・高校生と濃密に対話しながら作業を行った。これは作業の精度の向上とともに、道具の使い方指導やけが防止など、安全確保にも資した。



実践

事務局との協力体制

事務手続きについては、本学学術研究推進機構産学連携支援室において行った。

広報活動

本学の秋のオープンキャンパスと開催日を合わせることで参加者の確保を図った。

安全配慮

- ①実施場所の安全確認を行った。
- ②実験・実習時の道具使用の説明と注意喚起を行った。
- ③実施場所周辺の医療機関の休日情報把握を行った。
- ④参加者の傷害保険（東京海上火災日動旅行傷害保険）に加入した。
- ⑤実施代表者の業務上の災害補償については、本学就業規則第8章（災害補償）を適用した。
- ⑥実施協力者（学生）の保険については、本学の委託徴収金として学生教育研究災害傷害保険料を入学時に4年分一括納付しているため、これを適用した。

実施代表者は実施協力者とともに、図面や模型で終わらない実体ある成果と社会的評価が伴う学修に精力的に取り組んでいる。その1題として、産学連携によるプロジェクト型教育研究「学生ブランドによるマンションリノベーション」を6年間実践しており、これまでに本学学生の設計のリノベーション物件は22室を数えた。企業には、所有者に負担をかけず学生らしい斬新なデザインによるリノベーション案を提供でき、本学には、学生がリノベーションのテーマ設定から設計、施工現場での工事監理までの実務に携わる、生きた住居・インテリア学修が実践できるメリットがある。こうした教育研究の成果を中学生・高校生にも還元できる本事業を、今後も実践していきたいと願っている。

【実施分担者】

なし

【実施協力者】 13名

小野将司 江川詩乃 河村大樹 高田祥平 友末佑太 許山若奈 伊藤 彩 岩崎菜奈子
内野大樹 木下洸大 柴田真子 中井沙弥香 益留 剛（いずれも本学工学部・学生）

【事務担当者】 林田純一（学術研究推進機構・産学連携支援室・職員）